

久保美由紀

会津大学短期大学部 講師

## 単身高齢者の地域生活を支える地域ケアネット構築の方法に関する研究

今日のわが国では、単に高齢化率の上昇だけではなく、高齢期での単身や夫婦のみの高齢者世帯の増加、なかでも男性の単身高齢者の増加や、男女ともに「一人暮らし期」がますます長期化する傾向がみられる。こと高齢期における単身生活は、単身であるがゆえに生活上に生じるさまざまな出来事による影響を受けやすく、より生活継続が不安定化しやすくなる。

本研究では、地域での単身での生活の実際を明らかにし、そのうえで単身高齢者の生活継続を可能とする単身高齢者のもつヒューマンネットの実際とその可能性を検討した。その結果、単身高齢者の生活継続には、子どもや親族、友人等、福祉サービスに携わる福祉専門職等、地域の商店等、のヒューマンネットが存在していることを明らかにした。さらに今後は、現状のような高齢者本人との個々の関係性だけではなく、多層につながるネットを構築していく方法の検討と併せて住宅や所得保障など生活基盤の保障とあわせて、単身高齢者の地域ケアネットを構築していくのかを検討していくことが重要となる。